



信州の未来を創造する測量設計

目 次

● 会長 年頭のあいさつ	1p
● 令和7年度協会活動	2p
● 協会・委員会活動	17p
● 会員名簿	20p
● 編集後記	裏表紙

会長 年頭のあいさつ



一般社団法人
長野県測量設計業協会
代表理事 吉竹 行仁

皆様、あけましておめでとうございます。本年も健やかに新しい年を迎えることができましたこと、心からお慶び申し上げます。これも、行政をはじめとするあらゆる関係機関の皆様、そして何より、我々の技術成果のご愛用者（エンドユーザー）である地域住民の皆様のおかげだと深く感謝しております。

さて、「能登半島地震災害」発生から2年が経過しました。まだまだこれから、元の生活を取り戻すためには、我々測量設計業をはじめとする建設産業の力が必要であり、非常に大事な年となります。我々はこの環境や難局に怯むことなく、積極的に挑戦してまいります。

県内の社会資本（インフラ）の整備、災害復旧等の取組みについては、もとより使命感をもって努め励み勤しんでいきます。様々な人たちと「同志」になり、心をあわせて「国や地域の未来を創り上げていく年」になると言えるのではないかと感じております。

皆様ご承知のとおり、測量設計業を含むすべての産業において担い手不足は深刻な問題となっています。本年は、業務遂行においてデジタル化、人工知能（AI）推進が急務であります。

このことによって、測量設計業の概念そのものが変わるとともに人々の暮らしを支えるあらゆるモノ、サービスがデジタル情報でつながっていく時代に入っております。

つまり、私たちのビジネスを考える上でも、建設産業単体ではなく、まちづくり全体、社会全体という大きな視野でインフラDXを考えるとという発想が必要となってくると思います。そして、私たちに与えられた課題は、AI時代でも建設産業を向上させ続けるための組織とマネジメントの変革であると考えているところであります。

協会の運営に目を向けますと、環境の変化が益々早くなっている中で、当協会がこれから未来に向けた活動が厳しさを増すことは、誰しも想像できることだと思います。我々の技術力、それに伴う競争力を復活させ、測協の存在感・認知度・影響力を取り戻すことができるか、ここ数年が正

念場だと認識しています。

そのためにも、全協会員一体となって競争力復活に引き続き取り組んで行きたいと思います。一方で、国の政策や地域の動き・変化、災害対応の推進、更にはDXが我々の事業にもたらす影響や変化等を不断に、そして俯瞰的に捉え、柔軟性とスピード感をもって協会の方向性を判断していくことが会長の責務であるとの認識を強くしています。

これからの時代は、測量・調査・設計・施工・維持管理のボーダレス化、業界の壁を超えた、いわば「何でもあり」の事業環境になってきています。こういった環境変化に対応するため、モノの見方、考え方を変えなければ協会の方向性、やり方は変わっていきません。それぞれ自分にも見えていない現実があります。そのことを受け入れる柔軟さ、そして、見えていない現実を見ようとする情熱が大事だと思います。私は、そんな協会の姿を求めて行きたいと思っています。

常に「長測協の強み」とは何かを考えながら運営を進め続けていきたいと思っています。そのためにも攻めの姿勢を貫いて推進していきます。いままでやらずに終わっていたことも、やってみた時に初めて見えてくるものがあるのではないのでしょうか。

それは、長測協という存在と向き合うことでもあります。徹底的に議論を重ね、勇気をもって新たな事業に挑戦することで、今まで気づかなかった「ありがたい姿」と「やるべき事」が見えてくると思います。そしてそれが成長の柱となり、「長測協の未来」を支えていくことにつながっていくと確信しています。

本年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。これには「情熱や変化を象徴する年」と言われています。まさに長測協の強いエネルギーと個性を持ち、長測協らしく突き進むにふさわしい年と思います。本年も皆様と共に、健康で充実した1年を過ごせることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

北信支部活動

北信支部長 伴野 節男

長野県建設部現地機関との現場研修会・意見交換会 ▶副支部長 臼田 裕一

「地附山地すべり災害に学ぶ」

【日 時】令和7年8月1日（金）14：00～

【場 所】地附山公園、地すべり資料館

【講 師】塩入 信一様

（長野県地すべり防止工事士会会員）

【講 師】前田 英己様

（長野建設事務所企画幹兼計画調査課長）

【参加者】北信支部40名、長野県職員6名
計46名

長野県建設部等北信地域現地機関との意見交換会に先立ち、地附山地すべり災害から40年目を迎えたことを契機に、「地附山地すべり災害に学ぶ」をテーマに研修会

を行いました。

現在は地附山公園として管理されている現地で、対策工として施工された、内部を観察できる集水井や鋼管杭の実物等を見学し、地すべり観測センター（資料館）では展示資料の説明を受けました。

研修により、地附山地すべり災害発生前後の綿密な観測・調査と地すべり発生機構および対策工法について学習し、測量設計業に携わる技術者として、地すべり防災に関する適切な対応を学ぶ良い機会となりました。

また、CPDポイントを付与したこともあり、多くの方にご参加いただきました。



長野県建設部等北信地域現地機関との意見交換会

【日 時】令和7年8月1日(金) 16:00～

【場 所】ホテルメトロポリタン長野

【参加者】北信支部44名、長野県職員21名
計65名

ここ数年来、長野県建設部等北信地域現地機関との意見交換の場がコロナ禍の影響等で途切れていましたが、今日の社会状況下、当協会を含む業界の課題等について情報共有を行う必要性もあり、本年度、久々に意見交換会を開催いたしました。



支部内で事前に、入札・契約事項から業務に関する事項等、多岐にわたる項目について要望・意見を集計・集約したものを資料に、当日、浦野技術委員長が代表して質疑し、長野建設事務所前田計画調査課長に応答していただく形式で進行しました。

その結果、北信地方の地域性を含めた課題、測量設計業のあり方など広汎な意見を交換することができました。

その後の懇親会も久々の実施でしたが、非常に盛況で有意義な意見交換、懇親を深めることができました。



建設技術実践プロジェクト事業に伴う長野工業高等学校技術支援 ▶副技術委員長 松林 直人

【実施日】令和7年6月16日(月)～9月29日(月)

【場 所】(一) 裾花川右岸河川敷、長工パソコン室

北信支部では、本年度も長野県建設技術実践プロジェクト事業に伴う技術支援として、長野工業高等学校土木工学科3学年課題研究の授業において、測量分野の技術指導を行いました。本年度も昨年度に引き続き、一級河川裾花川右岸長安橋上流140m区間の河川敷ウォーキングロード計画を目的とした路線測量を課題として、全9回実施しました。

課題研究は、見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、産業発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する科目であり、本プロジェクトでは①体系的・系統的に理解を深める、②今まで学んできた「測量学」の集大成を通して、次への「設計」、「施工」へつなげる情報等を図面化する、③グループごとに課題解決するための討議を通して効率化を模索し、作業を進めるよう支援し、社会貢献に主体的、協働的に取り組む意識と技術の習得を深められるよう支援しました。

初回の授業では、「業務としての測量」をテーマに能登半島地震による座標値の影響や本年度から実施された標高改正、さらには測量法、測量士補試験出題問題を基に説明しました。その後、実習地へ移動し、現地踏査を行い、実習に向けての注意点や地形データ取得の重要性を説明しました。



第2～5回までは路線測量（中心線、縦断、横断測量）を実施し、支部会員によるデモンストレーションの後、各班に分かれ、支部会員の指導の下、観測時の重要なポイントやアドバイスをを行い、実際の測量現場での実践的かつ系統的な測量作業を体験してもらいました。



第6・7回は、現地で観測したデータを測量CADソフト（TREND ONE）へ取り込み、計算整理から図化までの流れを見て、問題点とその解消を解説し、さらにはそれらのデータを土木施工業向けCADソフト（武蔵）で図面編集し、成果品作成まで行い、設計業務の基礎資料となる図面の作成を行いました。その際は、CAD製図基準や電子納品要領にも触れながら、より実践的な内容になるよう留意して実習を行いました。



第8・9回は、最新技術を体験してもらうため、実習地の三次元点群データを使い、3次元空間設計システム（Land Forms）で三次元点群データの編集と図化を行い、実測した横断データと、三次元点群測量で得たデータから作成した横断データを比較しました。最終日は高校の授業公開日となっており、中学生やその保護者の方々が参観され、三次元点群測量に触れていただくことができました。

測量技術の変化に触れ、レーザースキャナ等の最新技術のメリットとデメリットを説明しつつ、体験的な学習活動を行いました。

技術者を目指している生徒たちに心構えや自己研鑽（資格取得等）について触れ、若手技術者に求めるものや期待することを総括しました。1人でも多くの若い人材がこの業界に興味をもち、我々と共に従事してくれることを期待します。



中野立志館高等学校 2年生測量講習会 ▶技術委員長 浦野 泉

【実施日】令和7年9月10日(水)

【場 所】中野立志館高校

【参加人数】2年生 9名

中野立志館高校建設系学科2年生に対する就労支援事業の一環として、測量・設計業に関する説明を行いました。

前半は、当協会の紹介並びに測量・設計業の魅力について紹介しました。測量・設計業の魅力ややりがい、今後の勉強の方向や資格取得について、熱心に聞いて頂けました。今行っている学業が仕事へつながっていることを実感してくれていたようです。



後半は、3次元測量データを用いてどんな作業をしているのか、どのようなことができるのかを実践してもらいました。

中野立志館高校では、3次元点群処理ソフトが3ライセンス導入されているため、3班に分かれて協会が用意した3次元データを用いて作業を実施しました。

生徒さんは、3次元点群処理ソフトを初めて操作したのですが、若いだけあり、大変上達が早かったです。この中から若い技術者が、近い将来我々の業界に入ってくれることを確信しました。



若手技術者現場見学会（浅川ダム）▶総務委員 村澤 幸一

【実施日】令和7年10月28日(火)

【場 所】浅川ダム(長野市浅川一ノ瀬)

【参加人数】6社23名

北信支部では浅川改良事務所の方を講師にお願いし、浅川ダム見学会を実施いたしました。浅川ダムは長野市北東部に広く流域界、氾濫想定区域があり、その範囲内に事業所のある者も多く、多くの会員が広く関心を持つ土木施設の一つであります。

今回は管理棟にてパワーポイントやビデオによる浅川ダムの概要説明、ダム堤体にて堤体や監査廊、そして普段なかなか入ることのできない常用洪水吐の見学を行いました。

河川氾濫による被害軽減のため昭和52年の河川改修から考えると約40年の年月をかけて浅川本川の対策が完了しました。このダムの特徴的なところは「穴あきダム」とも称されるように、洪水調節のみを目的とした流水型ダムであることです。洪水時以外は上流からの水がそのまま流れる仕組みになっており、環境に与える影響が少ないことから「環境にやさしいダム」と呼ばれています。

近年では有事の際には湛水池となるダム上流部にフジバカマが植生され、季節になると可憐な花を咲かせ、その蜜によるアサギマダラも地域住民やハイキングの方などを楽しませる取り組みも行われ、5月の鯉のぼり掲揚や7月の浅川ダム祭りなども行われ「親しまれる浅川ダム」としても活躍しております。



長野工業高等学校 土木工学科 測量講習会 ▶副総務委員長 黒田 博

【実施日】 令和7年10月21日 (火)

【場 所】 長野工業高等学校

【参加人員】 2年生 39名

就労支援事業の一環として、長野工業高等学校土木工学科2年生に測量・設計業に関する説明を行い総合的な探究の時間とし、午前中は、測量・設計業の業務内容と業務のやりがい・魅力をはじめ、社会資本整備及び技術者賃金並びに会社等の内容説明を行った。また、若手技

術者の経験の発表、学生との座談会を行い学生からは“3K”業務に対する姿勢、資格取得等、若手技術者の初任給、現場と残業、休日等の質問がありました。

午後は、屋外で5班に分かれ、支部から派遣された講師によるUAVのデモンストレーション後、学生全員に操縦体験して貰い大変興味を持たれたようでした。

また、屋内でのAR(拡張現実)、VR(仮想現実)を全員に体験をしていただき大変好評でした。



国立長野工業高等専門学校の測量実習支援事業 ▶副会長 安藤 達也

【実施日】令和7年11月6日(木)

【場 所】下高井郡山ノ内町 夜間瀬川

【共 催】長野県北信建設事務所、山ノ内町役場、土木・環境しなの技術支援センター

【参加生徒数】長野高専 工学科都市デザイン系
3年生 37名

晴天ではありましたが少し肌寒い中、毎年恒例の長野高専学生の測量実習が山ノ内町夜間瀬川(横湯川と角間川合流部)にて行われました。

開校式では安藤副会長(測協)、西山所長(北信建)、久保田副町長(山ノ内町)、遠藤教授(長野高専)の挨拶から始まり、西山所長により「夜間瀬川の砂防事業」と題して講義が行われました。



その後6班に分かれて1～3班が河川縦横断測量、4・5班が堰堤の形状測量、そして私も付き添った6班が災害伝承などの現地調査という内容でした。



災害伝承は土木・環境しなの技術支援センターの松林様に明治時代からのこの地の歴史及び昭和25年の大規模土石流災害後の復旧について、またそれにまつわる史跡を歩いて周り6名の学生共々大変勉強になりました。

作業終了後の閉校式では班ごとに学生一人一人から感想が聞けました。

「学校では学べない河川測量が実測できて良かった」「仲間と協力ができて良かった」「プロの測量屋さんのおかげで楽しく測量できた」等概ね好評でした。

開校式での私の挨拶でも話しましたが、今回の測量実習を通じて楽しい思いとか興味を持ってもらって将来長野高専の学生の中から一人でも多くの測量・設計技術者が誕生してくれることを祈って報告とさせていただきます。

事前準備等ご協力いただいた技術委員はじめ北信支部の技術者の皆さん誠にありがとうございました。



「長野県学校農業クラブ連盟 第76回 各種県大会（平板測量競技）」▶総務広報委員 清水 祐一

【実施日】令和7年8月2日（土）

【場 所】佐久平総合技術高等学校 浅間キャンパス

【主 催】長野県農業クラブ連盟

機械化が進む測量・設計業界において、測量分野の基礎となる平板測量の競技会が佐久平総合技術高等学校にて開催され、当協会も審査員として参加しました。

県内6校ある長野県学校農業クラブ連盟加盟の高等学校のうち3校（更級農業高等学校・佐久平総合技術高等

学校・上伊那農業高等学校）が今年度の競技会に参加して平板測量の技術・精度を競いました。

今年度優勝は更級農業高等学校でした。現役の高校生世代が土木・測量設計業界に興味を持っていただいて、将来の進路を考える際の選択肢のひとつになれるように、次世代を担う技術者がこのような学生の中から育ってくださることを願っています。



東信支部技術研修会 ▶総務広報委員 清水 祐一

【実施日】令和7年8月5日（火）

【場 所】上田合同庁舎6階 講堂

【協 力】長野県建設部 上田・佐久建設事務所・技術管理室

近年長野県でも豪雨や短時間大雨など局所的に1時間あたりの雨量が100mmを超えるような猛烈な雨が観測され、雨以外にも日本全国で多発している地震などの自然災害に備える意味でも大変有意義な技術研修会となりました。

1.テーマ

- 1) 災害復旧事業のポイントについて
- 2) 長野県インフラデータプラットフォームの取り組みについて

2.参加者

佐久建設事務所 14名
上田建設事務所 14名
技術管理室 6名
測量設計業協会 東信支部会員 40名



1. 災害復旧事業のポイントについて

- ・災害復旧制度（負担法）の目的と沿革
- ・負担法制度の財政上の優位性
- ・発災から査定までのスケジュールと提出期限
- ・現地調査（被災報告）のポイント
- ・査定設計のポイント
- ・査定での説明に必要な準備
- ・査定中の業務（査定結果に応じた図面修正や数量計算）
- ・復旧工事段階での設計変更
- ・発災に備えた心構え

2. 長野県インフラデータプラットフォームの取り組みについて

- ・構築の背景と課題
- ・システムの目的と概要
- ・これまでの利用経緯と主な取組事例
- ・建設業協会との共同利用について
- ・ポータルサイトの内容
- ・災害時の運用（通常時・大規模）
- ・機能紹介と検討中の機能
- ・アプリとライセンス（非常時のライセンスの追加）

就労支援事業に伴う丸子修学館高等学校測量実習 ▶ 総務広報委員 清水 祐一

【実施日】 令和7年10月1日（水）

【場 所】 長野県立 丸子修学館高等学校

【協 力】 長野県建設部 上田建設事務所

【参加生徒数】 工業分野 土木測量受講 2年生22名

1. 屋外学習

UAVレーザースキャナーと地上型レーザースキャナーを用いて、班ごとに分かれて各機器の概要や操作方法について説明後、実際に観測体験をしてもらいました。

普段の授業では実際に触れる事のない最新機器に興味津々に聞き入る学生の姿が印象的でした。



2. 室内学習

屋外学習で取得した観測データ（3次元点群データ）を実際に図化するために必要なソフトの概要や基本的な操作方法を説明して一連の作業を体験してもらいました。

従来の機器での観測と違い、取得されるデータ量の多さに驚きながらも集中して受講していました。



南安曇農業高等学校 測量設計実習 ▶ 総務広報委員 谷本 直樹

令和7年6月16日、7月2日、16日の3日間にわたり、南安曇農業高等学校で3年生を対象とした授業の一環として測量設計の実習を行いました。

講習内容：

- ①TS地形測量、縦横断測量実習
- ②UAV・LidarSLAM見学
- ③測量ソフトによる座標計算、CADを用いた測量図作成
- ④CADを用いた歩道設計実習
(平面図、縦断図、標準横断図)



測量ソフトによる室内実習の様子

・南安曇農業高等学校 地形測量および交流広場設計講習会～「建設技術実践プロジェクト事業」(旧「自分たちでつくろうプロジェクト」)～



TS測量屋外実習の様子



TS測量屋外実習の様子

南安曇農業高等学校 測量講習会 ▶ 総務広報委員 谷本 直樹

令和7年9月11日に南安曇農業高等学校環境クリエイト科2年生の生徒48名を対象に測量講習会を行いました。

この講習会は測量実務に関する室内講義と現場実習を通じ、測量の実務内容や最新測量機器の取り扱い方法等を習得してもらうことを目的として開催しております。

今回は22名の中信支部会員が講師となり、GNSS測量や路線測量、平板測量などの技術指導の他、ドローン

のデモフライトなども実施しました。

今回の経験を通じて、将来の進路を決める時の選択肢のひとつになるように、次世代を担う測量技術者がこの生徒の中から多く育ってくれることを願います。

多くの協力者のお陰で無事に終了することが出来ました。心より御礼申し上げます。



GNSS測量室内講習の様子
(鵬会館)



路線測量実習の様子



ドローンデモフライトの様子



平板測量実習の様子

木曽青峰高等学校 測量講習会 ▶ 総務広報委員 谷本 直樹

令和7年10月29日に長野県木曽青峰高等学校で森林環境科2年生の生徒18名を対象に測量講習会を行いました。

この講習会は地域に根ざし、地域の暮らしを守る建設業の将来を担う若手技術者を育成し、建設業への就労を促進するため、官民協働で、県内の建設系学科高校生を対象とした研修の一環として開催しております。

中信支部会員9名が講師となり、GNSS測量や地上レ

ーザースキャナーを用いた測量などの技術指導の他、ドローンのデモフライトなども実施しました。

今回の経験を通じて、将来の進路を決める時の選択肢のひとつになるように、次世代を担う測量技術者がこの生徒の中から多く育ってくれることを願います。

多くの協力者のお陰で無事に終了することが出来ました。心より御礼申し上げます。



室内講習の様子



GNSS測量屋外講習の様子



ドローンデモフライトの様子



地上レーザースキャナー講習の様子

飯田OIDE長姫高等学校測量実習 ▶ 支部長 松村 忠次

【日時】 令和7年6月13日 (金)

【場所】 飯田OIDE長姫高等学校

【活動内容】

今年も飯田OIDE長姫高等学校 社会基盤の3年生を対象に測量実習を実施しました。飯田地区の会員企業に多くのOBが在籍する飯田OIDE長姫高等学校の測量実習は、当初OBが後輩のために実習に協力する形で始まりました。現在は、(一社)長野県測量設計業協会南信支部 飯田地区の会員企業が実習に協力しています。

GNSSを用いた衛星測位システムの体験や、UAVを用いたレーザー測量、ハンディースキャナーを体験してもらいました。測量業界に興味を持ってもらい、来年度は飯田OIDE長姫高校から多くの生徒が各社に入社してくれることを期待します。



富士見高等学校測量実習 ▶ 副支部長 名取 洋史

【日時】 令和7年7月10日 (木)

【場所】 富士見高等学校

【活動内容】

富士見高等学校の3年生12名、2年生32名を対象に測量実習を実施しました。

3年生は、事前の授業でいつも使用しているフォークリ

フトのコースを平板測量にて三斜法により求積してもらい、実習では同じポイントをトータルステーションで観測し面積を比較してみました。「トータルステーションは便利だね」と言っていました。また、UAV測量による点群データの座学を熱心に聞いていました。

2年生は、トータルステーションをとにかくいじってもらうことを目的に屋外実習を行いました。機械の使い方がわかってくると面白いなって一所懸命にいじってました。ま



た、写真測量の立体視の体験では「できた～」「できな～い」と楽しそうに行っていました。



飯田OIDE長姫高等学校建設技術実践プロジェクト ▶ 支部長 松村 忠次

【日時】 令和7年7月11日 (金)

【場所】 飯田OIDE長姫高等学校

【活動内容】

今年も飯田OIDE長姫高等学校社会基盤3年生を対象に実施しました。

この事業は平成29年より続いており9年目となります。全体計画から始まり現在では(一) 松川にランニングロードを設置しています。今年度は地上型のスキャナーを使用しての地形とセンター縦横断測量、ドローンでの空撮とランニングロードインターンロッキング15m分の施工を行いました。慣れない作業でなかなか進まないという事もあ

りましたが、先生や建設業協会の協力もあり無事に完成いたしました。



測量の日記念事業 測量出前講座 飯田市立追手町小学校 ▶ 支部長 松村 忠次

【日時】 令和7年10月27日 (月)

【場所】 飯田市立追手町小学校

【活動内容】

飯田市立追手町小学校の6年生25名を対象に図形の合同や拡大図と縮図について座学を行い、校庭にて測量機器を使用して児童が考えた図形を十倍に拡大して描いた後、各辺の長さが十倍になっているか確認をしました。またドローンでの上空からの撮影も行いました。児童たちも、とても真剣にまた笑顔で楽しそうにしている姿を見てほっこりしました。この児童の中から一人でも多くの測量士、技術者が出ることを期待します。



上伊那農業高等学校測量実習 ▶ 技術委員 境澤 昌志

【日時】 令和7年11月20日 (木)

【場所】 上伊那農業高等学校

【活動内容】

今回の上伊那農業高等学校の講座は、建設系高校生の測量設計業への就労拡大に結び付けることを目的として実施しました。講座の内容は、当協会員が担当する調査・測量・設計部門のうち「測量」を中心にしたもので、当日は、コミュニティーデザイン科里山コースの16名の生徒に最新測量機器を操作してもらい、測量技術について学んでいただきました。

講座前半は、「測量設計という仕事」と題して座学を行い、測量設計業務が公共事業の上流部に位置する「未来

を創る始まりの仕事」ということに興味を示してくれました。また、教室内で地上型レーザースキャナーで計測し、その3次元点群データを見せると歓声が上がりました。

続いて行った測量実習では、南信支部伊那地区の各社から派遣された15名の技術者の指導により、トータルステーションを使った基準点測量、デジタルレベルを使った水準測量、VRS-RTKによるGNSS観測を体験しました。その後、UAVを飛行させ、飛行状況の見学と記念に集合写真の撮影を行いました。上伊那農業高校では、2年ほど前から測量の授業を行っており、参加した生徒は「はじめて測量機器に触れ、測量を体験し、興味が湧いた。」と答えていました。



南信支部経営者研修旅行 ▶ 副支部長 森脇 慎一郎

【日時】 令和7年12月4日 (木)～5日 (金)

【場所】 熱海大規模土石流発生地、他

【活動内容】

参加者17名で経営者研修旅行として静岡県熱海市、他へ行ってきました。

初日にかつて大規模土石流が発生した熱海市へ向かいました。人災ともいわれる盛土崩落により「宅地造成及び特定盛土等規制法」が整備されたことは記憶に新しく、研修を通して今後の法規制に対応する技術力向上を主眼として行動しました。現地は未だ復興中ということで、

間近で研修をすることは叶わなかったのですが、急傾斜な地形に隣接する建物や、そこを一瞬で流れていった土砂をイメージして災害の規模を改めて実感しました。

土砂災害は我々も対応頻度が高く、盛土規制法のみならず災害対応にまで思いを馳せる研修となりました。

二日目は、一転場所を移動した横浜付近で、懇親を主軸とした活動となり、日頃の業務等の情報交換もでき内容の濃い二日間とすることが出来ました。

下伊那土木振興会「道路講演会」共催開催 ▶ 副支部長 森脇 慎一郎

【日時】 令和7年12月11日 (木)

【場所】 シルクプラザ

【活動内容】

下伊那土木振興会では毎年、「道路」と「砂防」を入れ替えて講演会を初秋に開催しており、今年は「道路講演会」でした。この事業は、(一社)長野県測量設計業協会南信支部も後援している事業であり、会員企業からは約60名の出席がありました。

今年の演題は、道路行政等に携わる専門分野の講師の皆さまをお迎えし、南信地域の道路の現状と、これからの道路メンテナンスについて考える機会と捉え、道路事業に関係する多くの住民を対象とした道路講演会となりました。

【講演内容】

(1)『道路行政を取り巻く最近の話題』

講師 国土交通省道路局 環境安全・防災課
交通安全政策分析官 田中 衛 氏

(2)『長野県の道路について』

講師 長野県 建設部長 栗林 一彦 氏

(3)『三遠南信自動車青崩トンネル(仮称)長野県側について』

講師 五洋建設株式会社 土木部門 土木本部
土木技術部 専門部長 青木 英一 氏



南信地区の長野県4事務所との意見交換会 ▶ 副支部長 名取 洋史

【日時】 令和7年12月18日 (木)

【場所】 「すわっチャオ」、「ぬのはん」

【活動内容】

南信4建設事務所の所長、整備課長をご来賓として迎え、各建設事務所の事業実施状況、今後の事業及び発注予定の説明を頂きました。また、業務に対する問題点等を意見交換させて頂きました。

【検討議題】

- ・災害協定について
- ・総合評価について

16項目の意見・要望に対して議論いたしました。

大型案件において、より多くの業者に参画機会を増やすためにどうしたらよいか？また、若手技術者や女性技術者の獲得にむけて今後どうするか？などの問題点に関して様々な意見交換をしました。

懇親会では、意見交換会の延長のような充実した会話ができ、より価値のある意見交換会となりました。



協会・委員会活動

第56回通常総会 総務広報委員会

【開催日】 令和7年5月16日（金）

【場 所】 ホテル国際21

会員数（委任状による者を含む。）70名（議決権の総数70個）が出席のもと、開催しました。

議事は、

1. 令和6年度事業及び収支決算報告並びに貸借対照表、正味財産増減額計算表の承認及び監査報告に関する件（第1号議案）
2. 令和7年度事業計画及び収支予算報告に関する件（第2号議案）

3. 令和7年度会費賦課金、入会金及び役員報酬の承認に関する件（第3号議案）

の3議案で、第1号及び3号議案を承認可決、第2号議案の報告を行いました。

4. 定款の改正及び役員改選に関する件（第4号議案）

については、議長から、一部定款を改正したい旨提案され、また、コンプライアンス担当理事及び事務局長の交代に伴う新たな理事が指名され、全会一致で選任されました。



【懇親会】

総会後の懇親会は、萩原顧問及び国の機関、長野県から来賓をお招きし、和やかに開催されました。



災害復旧事業技術者講習会 技術委員会

【開催日】 令和7年6月13日（金）

【場 所】 ザ・ハーモニーホール(松本市音楽文化ホール)

【参加者】（一社）長野県測量設計業協会会員444名、
建コン2名、補償コン8名、一般41名、長野
県4名 計499名



講習会全景

【演題及び講師】

1. 公共土木施設災害復旧に係る設計上の留意点について
《講師》長野県建設部河川課災害係 木村 直人 様
2. 現場における3Dモデルの可視化と最新機器を活用した計測について
《講師》株式会社いとう システム営業部
清水 晃治 様（賛助会員）
3. 南海トラフ地震について
《講師》気象庁長野地方気象台
南海トラフ地震防災官 山崎 一郎 様
4. 山地災害に対する取り組みについて
《講師》長野県林務部森林づくり推進課治山係
日詰 文太 様
5. 災害時におけるUAVレーザーと運搬ドローンの親和性について
《講師》セキド新潟上越株式会社フォト・オフィス
オーツー 滝澤 大輝 様（賛助会員）

6. 災害復旧の設計業務における最近の動向について
《講師》株式会社高見澤 インフラセグメント営業部
矢口 滋正 様（賛助会員）
7. 企業を取り巻くリスクについて
《講師》株式会社ちとせ保険事務所 山田 智美 様
（賛助会員）

【概 要】

参加者は、昨年を上回る総勢500名近くとなりました。
今年度は、長野地方気象台から講師をお招きし、南海トラフ地震について講演していただきました。

また、長野県建設部及び林務部からは災害復旧に関する話題、賛助会員からは最新機器等について講演していただくとともに、今後災害復旧現場で活用が想定されるコンクリート製品や最新のテクノロジーを搭載した測量機器の展示ブースも設ける等の工夫も行い実施されました。



屋外展示ブース



屋内展示ブース

測量士・測量士補受験事前講習会 技術委員会

1. 長野会場

日時：令和7年3月8日（土）・9日（日）

場所：長野市若里市民文化ホール

参加者：測量士 21名、測量士補 17名
（うち高校生9名） 計38名

2. 飯田会場

日時：令和7年4月5日（土）・6日（日）

場所：飯田市飯田文化会館

参加者：測量士 24名、測量士補 26名
（うち高校生2名） 計50名

講師は、今年も東海工業専門学校金山校の成田先生と宮口先生にお越しいただいて、過去問題を中心に準則に基づいた受験対策講座を実施しました。高校生の就労促進事業として、測量士補の講習には、長野工業高等学校の生徒9名、飯田OIDE長姫高等学校の生徒2名が参加しました。



長野県総合防災訓練 危機管理委員会

長野県では、防災関係機関と地域住民が相互に連携して総合的な防災訓練を毎年実施しています。当協会は、昨年度よりこの防災訓練に参加しており、今年は令和7年10月19日に岡谷市で実施されました。

訓練実施直前の状況として、大雨による市内の河川の増水及び土砂災害の発生する危険性が大、さらに、訓練当日には早朝に最大深度7の地震が発生し、市内のインフラに大きな被害が発生したという想定で訓練が行われました。

当協会は、ドローンによる被害状況調査訓練に参加しました。諏訪湖面上にいる要救助者の搜索・位置情報の特定後、本部等に情報提供を行うとともに、上空から被害状況を把握・撮影し、関係機関への映像伝送を、諏訪広域消防本部と共同して活動を行いました。



会 員 名 簿

支部	会員名（代表者名）	所在地	電話番号／FAX E-mail
北信支部 (17社)	(株)伊藤測量設計 伊藤 裕 (副支部長)	〒380-0928 長野市若里3丁目10-10	TEL.026 (254) 7154 FAX.026 (254) 7169 ito-suv@vmail.plala.or.jp
	(株)内田測量 内田 哲郎	〒388-8004 長野市篠ノ井会13-3	TEL.026 (292) 0539 FAX.026 (292) 8181 uchida.s@vesta.ocn.ne.jp
	(有)エヌ・テック 中沢 清光	〒381-0006 長野市富竹113	TEL.026 (217) 2957 FAX.026 (266) 0827 ntec@coral.ocn.ne.jp
	環境都市設計(株) 岡田 すが子 (伴野 節男 理事兼支部長兼危機管理委員長)	〒380-0803 長野市大字三輪1324-11 TM三輪ビル	TEL.026 (238) 2368 FAX.026 (238) 2369 eud@eud.co.jp
	(株)共栄測量設計社 松林 直人	〒381-0012 長野市大字柳原344-3	TEL.026 (243) 5549 FAX.026 (243) 5965 info@kyoei-sv.net
	(株)協同測量社 吉田 敬一 (総務広報副委員長)	〒380-8577 長野市安茂里671	TEL.026 (226) 5691 FAX.026 (228) 8858 KYODO@kyo-soku.co.jp
	黒田整地開発(株) 黒田 博	〒381-0012 長野市柳原1494-7	TEL.026 (217) 2776 FAX.026 (252) 5228 h-hilow10@silc.plala.or.jp
	国土監理(株) 安藤 達也 (副会長)	長〒381-0025 野市大字北長池1756-1	TEL.026 (263) 0656 FAX.026 (263) 1390 kokudost@k-kanri.co.jp
	(株)国土設計 高野 浩一 (駒村 信夫 監事)	〒380-0912 長野市稲葉日詰沖1783-1	TEL.026 (221) 4330 FAX.026 (221) 8991 kokudo-s@kokudo-s.co.jp
	(株)サン環境計画 武田 和幸 (危機管理委員)	〒380-0921 長野市大字栗田653-53	TEL.026 (217) 4220 FAX.026 (217) 4228 info@sunkankyo.co.jp
	三共技研(株) 村澤 幸一	〒381-0043 長野市吉田2-4-37	TEL.026 (243) 8822 FAX.026 (243) 0329 info@sankyo-gk.jp
	(有)須高測量 上原 康夫	〒382-0025 須坂市大字豊丘4-2	TEL.026 (248) 1241 FAX.026 (248) 8735 s_survey@avis.ne.jp
	(有)測地 島田 正敏	〒387-0001 千曲市大字雨宮1516-2	TEL.026 (272) 6577 FAX.026 (272) 5585 sokuchi@alto.ocn.ne.jp
	(株)中央測量 浦野 泉 (技術委員)	〒389-2253 飯山市飯山1108	TEL.0269 (62) 4177 FAX.0269 (62) 2261 i-urano@chuo-survey.com
	長野技研コンサルタント(株) 臼田 裕一 (副支部長)	〒381-2204 長野市真島町真島1292	TEL.026 (283) 2304 FAX.026 (283) 2305 ngckk@avis.ne.jp
	(有)中村測量設計事務所 中村 利通	〒380-0943 長野市大字安茂里1823	TEL.026 (226) 7033 FAX.026 (226) 8033 naka-s-n@mx1.avis.ne.jp
	(有)山本測量 山本 洋輔	〒381-2405 長野市信州新町新町1377	TEL.026 (262) 2831 FAX.026 (262) 2853 yosuke@yamasoku.com
東信支部 (12社)	(株)アクロス 市川 友一	〒385-0052 佐久市原138-12	TEL.0267 (64) 8550 FAX.0267 (64) 8551 across@cpost.plala.or.jp
	(株)浅間エンジニアリング 小間沢 晃 (副支部長)	〒385-0051 佐久市大字中込3764-1	TEL.0267 (62) 8261 FAX.0267 (62) 1822 asama-eg@sas.janis.or.jp
	(有)イー・ティー・シー企画 畠山 美可	〒384-0304 佐久市北川1525-11	TEL.0267 (82) 6698 FAX.0267 (82) 6761 etc@rose.ocn.ne.jp
	(株)総和コンサル 清水 祐一 (総務広報委員)	〒385-0016 佐久市大字鳴瀬1131-1	TEL.0267 (68) 4788 FAX.0267 (68) 5133 souwa@lily.ocn.ne.jp
	(有)タイム社 福島 敬和 (副支部長)	〒385-0011 佐久市猿久保127-6	TEL.0267 (66) 0039 FAX.0267 (66) 0029 info@time-inc.jp
	(株)タイヨーエンジニア 佐藤 芳明 (理事兼相談役)	〒389-0512 東御市滋野乙1302	TEL.0268 (62) 1700 FAX.0268 (62) 2721 eigyo@taiyoeng.co.jp
	日測設計(株) 山本 元栄 (理事兼支部長兼技術委員長)	〒384-0016 小諸市八幡町1-4-16	TEL.0267 (23) 6001 FAX.0267 (25) 5842 yamamoto@nissoku.com
	(株)フジ技研 井出 一彦	〒386-0002 上田市住吉104-1	TEL.0268 (25) 1047 FAX.0268 (25) 5563 fujigkn@fignetwork.co.jp
	(株)みずず総合コンサルタント 増澤 宗 (技術委員)	〒386-1102 上田市上田原1073-4	TEL.0268 (24) 8230 FAX.0268 (24) 8353 msc06@e-misuzu.com
	(株)モテキ 中島 範利	〒385-0051 佐久市大字中込3421-50	TEL.0267 (62) 7701 FAX.0267 (62) 6459 info@k-moteki.com
	(株)ユーアール測量設計 川上 陽次郎	〒384-0027 小諸市六供1-3-17	TEL.0267 (22) 8841 FAX.0267 (22) 2856 ur-sv@ctknet.ne.jp
	(有)ワイエムテック 木内 政彦 (危機管理委員)	〒385-0061 佐久市伴野1639-21	TEL.0267 (63) 1528 FAX.0267 (63) 1539 ymtec@abelia.ocn.ne.jp
中信支部	(株)アスカエンジニア 藤井 茂巳	〒397-0001 木曽郡木曽町福島2637-1	TEL.0264 (23) 2695 FAX.0264 (24) 2695 asukae@plum.ocn.ne.jp
	(株)アズミエンジニア 吉竹 行仁 (村山 幸男 理事) (会長)	〒398-0002 大町市大町3276-1	TEL.0261 (22) 4575 FAX.0261 (22) 0698 info@aen.co.jp
	(株)あづみ野開発コンサル 赤羽 明彦	〒399-8205 安曇野市豊科2568-1	TEL.0263 (72) 7217 FAX.0263 (73) 0501 info@akconsul.com
	(株)アンドー 坪井 利幸 (副支部長)	〒390-0851 松本市島内3481-1	TEL.0263 (48) 0480 FAX.0263 (48) 0009 andoh@kkandoh.co.jp
	(株)奥原調査設計 奥原 広明	〒397-0002 木曽郡木曽町新開2662-1	TEL.0264 (23) 2433 FAX.0264 (24) 2780 kokuhara@fancy.ocn.ne.jp
	(有)金井測量設計事務所 金井 治夫 (副支部長)	〒399-7402 松本市会田706-1	TEL.0263 (64) 2073 FAX.0263 (64) 4079 kanaissj@dh.mbn.or.jp
	(株)けいかく 太田 大三	〒390-0316 松本市原84-2	TEL.0263 (46) 5225 FAX.0263 (46) 5154 kei@po.mcci.or.jp
	(株)山光測舎 白澤 一清	〒398-0003 大町市社6268-1	TEL.0261 (22) 9851 FAX.0261 (23) 3577 sanko@lily.ocn.ne.jp
	大成測量設計(株) 下里 守 (太田 清寿 理事兼支部長)	〒399-8301 安曇野市穂高7602-3	TEL.0263 (50) 8601 FAX.0263 (50) 8602 v-taisei@mx2.avis.ne.jp

支部	会員名（代表者名）	所在地	電話番号／FAX E-mail
17社	(株)中央工研 矢ヶ崎 恒夫	〒390-0852 松本市大字島立978-1	TEL.0263 (47) 8631 FAX.0263 (47) 8632 kikaku@cser.co.jp
	中部測量(株) 上水 茂子 (技術副委員長)	〒390-1701 松本市梓川俣3085-1	TEL.0263 (78) 5522 FAX.0263 (78) 5533 chubu-ar@mx1.avis.ne.jp
	(株)中部日本測量社 蒲生 三智子	〒390-0221 松本市大字里山辺1823-4	TEL.0263 (32) 7320 FAX.0263 (32) 7229 kk.tns@vega.ocn.ne.jp
	(株)長野技研 中嶋 孝満 (寺澤 慶一 危機管理副委員長)	〒390-1241 松本市大字新村2326	TEL.0263 (47) 7677 FAX.0263 (47) 6503 soumu@naganogiken.co.jp
	(株)日研コンサル 谷本 直樹 (総務広報委員)	〒390-0841 松本市渚2-5-6	TEL.0263 (26) 6470 FAX.0263 (27) 2614 info@nikkenc.co.jp
	深志測量(株) 横山 敏雪	〒390-0852 松本市大字島立1080-7	TEL.0263 (47) 6501 FAX.0263 (47) 4742 soumu@fukashi-survey.jp
	(株)マイクロ 後澤 伸之	〒390-0851 松本市島内3481-1	TEL.0263 (48) 0339 FAX.0263 (48) 0439 gozawa@kkmicro.co.jp
	(株)ミズホエンジニア 中村 功	〒399-8304 安曇野市穂高柏原1019-1	TEL.0263 (82) 8458 FAX.0263 (82) 4186 mizuho-eng@mzh-eng.co.jp
南信支部 (24社)	(株)アルプス 名取 洋史 (副支部長)	〒394-0031 岡谷市田中町1-4-26	TEL.0266 (22) 5514 FAX.0266 (22) 5524 alps@cocoa.plala.or.jp
	(株)飯田コンサルタント 下平 勝史	〒395-0822 飯田市松尾寺所7343	TEL.0265 (22) 0100 FAX.0265 (22) 0541 daihyo@iicon.co.jp
	(有)井戸測量 大平 俊家	〒395-0004 飯田市上郷黒田5843	TEL.0265 (23) 5793 FAX.0265 (22) 4555 idosokuryou@sunny.ocn.ne.jp
	(株)伊那測量 守屋 美喜男	〒396-0022 伊那市御園1298-2	TEL.0265 (72) 3966 FAX.0265 (72) 4105 i7so9@rose.ocn.ne.jp
	栄和測量(株) 矢澤 久実	〒395-0801 飯田市鼎中平2887-1	TEL.0265 (24) 1079 FAX.0265 (24) 1078 eiwa1@crocus.ocn.ne.jp
	(株)長姫 森脇 慎一郎 (副支部長)	〒395-0154 飯田市下殿岡206	TEL.0265 (25) 8855 FAX.0265 (25) 8860 soumu@kc-osahime.co.jp
	長姫調査設計(株) 藤澤 亘	〒395-0071 飯田市今宮町4-20	TEL.0265 (23) 3666 FAX.0265 (23) 3680 o-c-s@giga.ocn.ne.jp
	技建開発(株) 武井 清彦	〒395-0151 飯田市北方1313-2	TEL.0265 (22) 9585 FAX.0265 (22) 8320 eigyobu@gkc.co.jp
	(株)北国コンサル 北原 正人 (総務広報委員)	〒399-4431 伊那市西春近9099	TEL.0265 (72) 6458 FAX.0265 (72) 6499 rep@kitakuni.co.jp
	(株)北測 北原 勝美	〒399-4431 伊那市西春近下島2875-3	TEL.0265 (72) 3704 FAX.0265 (72) 3746 kitasoku@cocoa.ocn.ne.jp
	(株)協同コンサル 中村 知貴	〒393-0047 諏訪郡下諏訪町西赤砂4348-9	TEL.0266 (27) 7111 FAX.0266 (27) 7138 mail@kyoucon.co.jp
	(株)計測エンジニアリング 関 稔	〒399-2565 飯田市桐林1737-3	TEL.0265 (26) 3012 FAX.0265 (26) 8831 info@keisokueng.jp
	(株)コバコン 小林 佳人	〒399-2431 飯田市川路7527	TEL.0265 (27) 5250 FAX.0265 (27) 5220 kobayashi@kobacon.co.jp
	(株)ジッソク 溝口 豊	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂1378-2	TEL.0265 (82) 2328 FAX.0265 (82) 5052 mizoguchi@jissoku.jp
	(株)ゼンシン 境澤 昌志 (技術委員)	〒399-4115 駒ヶ根市上穂栄町13-7	TEL.0265 (83) 4865 FAX.0265 (83) 9728 info@k-zensin.co.jp
	(株)中部測地研究所 藤森 雄一	〒392-0131 諏訪市湖南801-1	TEL.0266 (58) 0304 FAX.0266 (58) 9515 info@chubusokuchi-lab.co.jp
	(株)藤測 松村 忠次 (理事兼支部長)	〒395-0806 飯田市鼎上山4040-1	TEL.0265 (23) 1522 FAX.0265 (23) 4810 t.sk@tohsoku.co.jp
	(株)ナカタ 唐木 暢彦	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂16705-9	TEL.0265 (85) 4517 FAX.0265 (85) 4518 contact@nakatass.com
	馬場測量設計(株) 馬場 規生 (副支部長)	〒396-0014 伊那市狐島4012	TEL.0265 (78) 8111 FAX.0265 (78) 8112 babasoku@inacatv.ne.jp
	(有)吉川測量設計事務所 廣瀬 大介 (危機管理委員)	〒395-0046 飯田市扇町17	TEL.0265 (53) 4808 FAX.0265 (53) 4809 ykss@tbz.t-com.ne.jp
	(株)理財 佐々木 宣久	〒396-0012 伊那市上新田2557-1	TEL.0265 (72) 1126 FAX.0265 (78) 0434 rizai@aurora.ocn.ne.jp
	(株)緑地計画 福澤 浩	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂14616-67	TEL.0265 (83) 7744 FAX.0265 (83) 7745 info@land-lab.co.jp
	(株)嶺水 小山 忠孝 (副会長兼総務広報委員長)	〒395-0003 飯田市上郷別府182-1	TEL.0265 (23) 3000 FAX.0265 (22) 6546 gis@reisui.co.jp
	(株)ワイド 春日 利敬	〒396-0026 伊那市西町5845-1	TEL.0265 (78) 7533 FAX.0265 (78) 6742 wide@cc-wide.co.jp
賛助会員 (7社)	(株)いとう 高村 和則	〒381-0024 長野市南長池498-1	TEL.026 (221) 4101 FAX.026 (221) 5313 webmaster@itoh.co.jp
	カシヨ(株) 奥山 哲	〒381-0037 長野市西和田1-27-9	TEL.026 (251) 0510 FAX.026 (251) 0500 kashiyo@kashiyo.co.jp
	(株)シー・ティー・エス 横島 泰蔵	〒386-0005 上田市古里115	TEL.0268 (26) 3700 FAX.0268 (26) 2102 kurumi@cts-h.co.jp
	(有)プラス・ワン 西山 求男	〒381-2233 長野市川中島町上氷鉋1574-1	TEL.026 (284) 7442 FAX.026 (284) 7461 info@plus1-n.com
	(株)ちとせ保険事務所 小澤 洋二	〒380-0921 長野市栗田182-1 MKビル2F-C	TEL.026 (224) 1585 FAX.026 (224) 1610 info@chitose-hoken.com
	(株)高見澤 高見澤 秀茂	〒380-0813 長野市緑町1605-14	TEL.026 (228) 0111 FAX.026 (227) 8046 infrastructure-info@kk-takamisawa.co.jp
	(株)フォト・オフィス オーソー (セキド新潟上越) 大坪 幸信	〒943-0171 新潟県上越市藤野新田336-1	TEL.025 (530) 7718 FAX.025 (530) 8800 info_ngj@sekidopartners.com

編集後記

令和7年10月2日に千葉県で開催された全国測量設計業協会連合会関東地区協議会主催の地方県会議において、元国土交通省技監の大石久和先生のご講演を拝聴いたしました。日本の財政がこのままだと破綻してしまうという財務書の虚言のもとで国の予算が削減され、政治家も官僚も日本の公共インフラの整備を怠り、日本のインフラがすっかり荒廃してしまったということを他国の公共事業費やインフラ整備状況をひいてご説明いただきました。国家において財源は税ではなく、国債という通貨発行であること、また消費者が負担しているものと思わされている消費税が、実は我々企業の人件費と利益（利益があればですが）にかかる税であり、社会保障費の負担増とともに人件費を上げることができない大きな要因となっていること、緊縮財政と消費税増税が日本の失われた30年の原因であることを学ばせていただきました。

令和7年7月の参院議員選挙において、当協会をご訪問いただいた際に「財務省と戦います！」と声高らかに決意を表明された見坂茂範さんが見事当選されたことは、とても心強いことです。また10月には高市早苗さんが史上初の女性内閣総理大臣に就任され、積極財政派の片山さつきさんが財務大臣に任命されました。

ここから日本が失われた30年を脱することができるのではないかと、まだぼんやりとしたものではありますが、光が差しつつあるのではないかと期待しています。

総務広報委員長 小山 忠孝

一般社団法人 長野県測量設計業協会

〒380-0838 長野市南長野県町484-1（センターボア702）
TEL.026-233-5078 FAX.026-233-5089
<http://chosokkyo.planet.bindcloud.jp>
E-mail : chosokyo@seagreen.ocn.ne.jp

